

|                |                  |    |             |
|----------------|------------------|----|-------------|
| ○事業所名          | ドリームズ・21st 鈴鹿桜島校 |    |             |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年1月20日        |    | ～ 令和7年1月31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)           | 54 | (回答者数) 46   |
| ○職員評価実施期間      | 令和7年1月14日        |    | ～ 令和7年1月17日 |
| ○職員評価有効回答数     | (対象者数)           | 8  | (回答者数) 8    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月6日         |    |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等                                |
|---|--|--|---|
| 1 | その時その場に合わせた部屋がある為子どもたちも安心して過ごせる。           | パーティションで仕切りパーソナルスペースを作ったり個別で話しが聞ける部屋を用意している。   | レイアウトを考え更に過ごしやすい環境を作る。                        |
| 2 | 漢字検定が受けられる。                                | 学校のような机の配置となっており取り組みやすい環境にしている。一人ひとりに合わせた学習内容を提供し、模擬テスト週間も作りテストとはどういうものなのか練習し本番もしっかり“テスト”という緊張感をもった空間で取り組めるよう努めている。    | 一人ひとりの状況をもっと深く把握できるよう努めていく。                   |
| 3 | パソコン検定が受けられる。                              | 実際の資格が取れるようになっており、まずは準備の仕方から片づけの仕方、そして取り組んでいる最中はタイピングからWord・Excel・PowerPoint等カリキュラムを決め個々に合わせた支援を行い将来の為自信にも繋がることを行っている。 | もっと一人ひとり苦手なところ等を把握し、その子に合わせた支援を行っていけるようにしていく。 |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                               | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 発信力の少なさ。<br>日々の様子をブログ等で更新出来ていない。           | パソコンに対して苦手意識のある職員がいたり、継続して発信していくということが難しくなっている。 | 発信の方法は様々ある為、まずはどのように更新していくのか再度職員間で話し合い検討し、保護者様へも見ていただけるようにしていく。         |
| 2 | 事業所(中)の様子を知ってもらう。                          | お迎えに来ていただいた際、外での立ち話になってしまうことが多い。                | 待っていただいている方は中に入って待ってもらおう等日々子どもたちの様子を見ていただけるよう工夫する。また授業参観のようにオープンデイを考える。 |
| 3 |  |   |   |